

芦別小学校で、市保健師が「がん・生活習慣病」の出張授業



平成27年12月21日、芦別小学校で市保健師による、がんについての授業が6年生を対象に行われました。がん・生活習慣病についての正しい知識を子どものころから持ってもらうと取り組んでいるものです。保健師が、「がんとはどんな病気なのか」や「体によくない生活習慣」

などを分かりやすく解説し、「朝ごはんをしっかり食べましょう」と呼びかけました。また、たばこを吸っている人の肺の模型を見て、児童たちは「こんなに真っ黒になっちゃうの」などと感想を述べるなど、たばこによる健康への悪影響をあらためて感じた様子でした。

福島県相馬市の小学生43人が本市を訪れ雪遊び体験など行う

平成27年12月24日から28日まで、福島県相馬市の小学3年生から6年生までの男女合わせて43人が芦別市を訪れました。

これは、東日本大震災・避難者受け入れ支援事業「北の大地に会いに行こう」の冬期コースとして星槎グループと市が主催し、4年前から行っているものです。

一行は仙台からフェリーとバスを乗り継いで、24日夕方、頼城町の星槎国際高校スクーリング棟に到着し、今野市長らが出迎えての歓迎式＝写真＝。26日には新十津川町内のスキー場でスキー体験を行ったほか、市内で雪遊びやケーキ作りなどをして、芦別での冬休みの一日を満喫していました。



道内各地の中学生バレーボール選手が本市で技を磨く



北海道バレーボール協会主催のジュニアバレーボールキャンプが、1月5日から11日まで総合体育館などで行われました。これは、中学生のバレーボール技術向上を目的として毎年行われているもので、札幌市や釧路市など道内各地から男女合わせて73チームが3班に分かれ、2泊3日

の日程で合宿を行いました。参加した選手たちは、協会スタッフや監督らの指導の下、レシーブ、パスなどの基本技術をみっちり学んだほか、試合形式による練習も行われ、会場内はひたむきにボールを追う中学生の熱気に包まれていました。

成人式に104人が出席し、大人の自覚を新たに

1月10日、芦別市成人式が総合福祉センターで行われました。

今年の新成人は平成7年4月2日から平成8年4月1日生まれが対象で、式典には男女合わせて104人が出席しました。

式典では、兼好哲哉市教育委員会委員長や今野宏市長のお祝いの言葉を受けたほか、新成人を代表して高

橋建人さんと山本梓さんが、「大人としての自覚と責任を持ち、目標を高く掲げながら一步一步歩み精進していきます」と新成人の誓いを述べました＝写真＝。

この後、ふれあい広場が開催され、友人との再会を楽しんだり、晴れ着姿で記念撮影したりと、会場は笑顔と華やかさにあふれていました。

